



## 効果

- 子どもに集団での生活体験を積むことにより、コミュニケーションの力や規範意識が高まる。
- 地域で子どもを育てる機運が高まる。

## 実践方法

公民館等で子どもたちが寝食を共に生活し、そこから学校への通学も行います。保護者や地域のボランティアが活動を支援します。

## ●運営ボランティアを組織

PTAや公民館が主体になり、地域の関係団体に協力を要請し、ボランティアを組織化します。

## ●会場の確保と日程の調整

布団等は持ち寄り、貸し布団を使います。お風呂は近所でもらい湯をします。保護者へは活動の内容、経費、保険等について十分な説明をします。

## ●事業実施

- ボランティアはなるべく口や手を出さないようにします。(協働の立場で)
- もらい湯をする家庭への礼儀やあいさつはきちんとするようにします。

## ●事業のまとめ

事業内容をまとめて次年度につなげます。

## 実践例

## ●東出雲町揖屋地区・意東地区

- PTAが実施主体になって5泊6日の通学合宿を実施する。
- 老人福祉センターや意東公民館を会場に概ね10月～11月に実施する。
- 自ら考え判断することなど、子どもの主体性や協力する姿勢などを大切に展開する。保護者が中心となって企画やサポートを行う。

## ●出雲市逢坂コミュニティセンター

- 逢坂コミュニティセンターが主体となり小学5・6年生を6泊7日の通学宿泊体験を6月後半に実施する。
- 家庭と同じような日常生活を、子どもたちの自主的な力で行う。
- コミュニティセンター職員やPTA・更生保護女性会など地域のボランティアがサポートする。
- 集団生活の中で、子どもの社会性や主体性をのばす取組として定着している。

## ●参考となるHP

HP上の検索エンジンで「通学合宿」で検索すると全国のたくさんの取組がヒットします。

## 問い合わせ先

- 東出雲町教育委員会  
社会教育グループ  
TEL 0852-52-6713

- 出雲市逢坂コミュニティセンター  
TEL 0853-53-5529





●トップアスリートが直接指導してくれる。＝ワクワク・感動！→スポーツisワンダフル。

## 実践方法

あこがれの選手と一緒に  
スポーツしてみたい。

トップアスリートがあなたの学校や  
クラブ・まちにやってきます。

## 事例紹介等

- スポーツ選手ふれあい指導事業  
「子どもの体力向上キャンペーン」の一環として、トップアスリートを講師に招き、全国各地でスポーツ体験教室が開催されています。

## 島根県の実績

年度	種目	講師	実施主体
15	バスケットボール	岡山 恭崇	石見町教委
	野球	福岡 納	宍道町教委
16	バレーボール	藤田 幸光	佐田町教委
17	サッカー	向島 建	NPOスポーツ振興21
	水泳	萩原 智子	隠岐の島教委
	陸上	苅部 俊二	邑南町教委
18	陸上	青戸 慎司	安来市教委／飯梨小学校
	クロスカントリースキー	今井 博幸	島根県スキー連盟
	バドミントン	宮村 愛子	リバーサイドSC
19	サッカー	宮沢ミシェル	大田市教委／長久小学校
	バスケットボール	塚本 清彦	おおの輪・和・ワーククラブ
	陸上	苅部 俊二	島根県陸上連盟／大田市陸上連盟

## トピックス

- リバーサイドスポーツクラブに  
オリンピック選手がやってきました！

(財)日本体育協会・スポーツ選手ふれあい指導事業の一環で、平成19年2月25日(日)リバーサイドクラブ(出雲市)へバドミントンの指導に宮村愛子さんがやってきました。宮村さんは熊本県出身で、小学2年生のころから競技をはじめ、日本のトップ選手として中学、高校、大学、実業団で活躍され、1996年のアトランタオリンピック日本代表として活躍されました。



午前中、出雲体育館で開かれた教室には、出雲市や松江市、雲南市などから約80名の小学生の参加がありました。教室では、技術のレベルに応じて、宮村さんが各コートを巡回しながら一人々にアドバイスしました。また、教室の締めくくりにはスマッシュをはじめさまざまな打ち方を披露していただき、小学生はもとより、引率の保護者の方々の視線は元オリンピック選手のテクニクに釘付けとなっていました。教室が終わると、たくさんの子どもたちが宮村さんを囲んでサインをお願いしていました。

お問い合わせは  
島根県教育庁 保健体育課  
生涯スポーツ振興グループまで  
TEL 0852-22-5423/FAX 0854-22-6767



## 効果

- 学校から地域へ、地域から学校へのコーディネートをしてくれる。
- 地域づくりを手伝ってくれる。

## 実践方法

## ● 内容について

学校から地域、地域から学校、地域から地域へ相談してみたい事があった時…。

例) 学校…読み聞かせボランティアを探している。  
地域…学校の生徒や先生に参加してもらいたい。ネットワーク会議を開きたいがどうすればよいか。



## 実践例

- 学校支援ボランティアの組織づくり。
- ふるさと教育推進のためのコミュニティセンター活動パネル展示事業。
- 放課後子どもプラン運営委員会の設置。

(例えば…)

- 学校支援ボランティアを探しているが、誰に相談したらいいのかわからないので聞いてみた。
- 地域にある社会教育施設や、その利用方法がわからないので聞いてみた。
- 地域の伝統行事について学習したいが、代表の方の連絡先がわからないので聞いてみた。

## 問い合わせ先

- 島根県教育庁  
生涯学習課  
TEL 0852-22-5429

## 効果

- 資格を取り、指導者として活躍できる・指導者を捜して習うことができる。

## 実践方法

- 指導者になりたい。
- 指導者としてレベルアップしたい…。

スポーツ指導者養成の講習会に参加する。

- 指導者を探している。
- 指導者としてお手伝いしたい…。

スポーツ指導者情報をゲットする。

## 問い合わせ先

## 講習会を実施している主な団体

体育指導委員、地域のスポーツ指導者など。

- 島根県教育委員会 保健体育課

TEL 0852-22-5423

URL:<http://www.pref.shimane.lg.jp/hokentaiku/>

公認スポーツ指導者、スポーツ少年団指導者など。

- (財)島根県体育協会

TEL 0852-21-5388

URL:<http://www15.ocn.ne.jp/~sasa/>

レクリエーション、インストラクターなど。

- 島根県レクリエーション協会

TEL 0852-33-2211

URL:<http://shimane-rec.netlab.jp/>

トレーニング指導士、スポーツプログラマーなど。

- 島根県体育施設協会

TEL 0852-22-5712

ホームページで指導者情報を掲載しています。

- しまね広域スポーツセンター

TEL 0852-60-5053

URL:<http://cgi.s-kouiki.jp/>

## 事例紹介等

## 講習会風景



ホームページで指導者情報を掲載しています。





## 効果

- 共同生活をとおして、他人を思いやる心やたくましさが育つ。
- 自ら考え、行動できる資質や能力、自然愛護等の感性が育つ。

## 実践方法

- 事業実施団体による事前準備  
(教育委員会、公民館、子ども会等)
- 参加者の募集  
(学校単位、子ども会、フリー等)
- 事前研修会の開催  
(参加者研修、スタッフ研修)
- サバイバルキャンプの実施
- 事後研修会の開催  
(スタッフ反省会、点検評価)



## 事例紹介等

- アドベンチャーキャンプinあま(5泊6日)
  - 開村式、オリエンテーション
  - テント設営、かまど作り、竹クラフト
  - ロープワーク、いかだ作り
  - いかだ航海
  - 海遊び
  - 撤収、閉村式
- 大満寺山教育キャンプ村(宿泊数設定自由)
  - ※原則として利用団体がプログラム
  - 【体験可能なプログラム】
  - 基本的なキャンププログラム
  - 竹クラフト
  - 沢登り(3時間)
  - 山頂登山(3時間)
  - グリーンアドベンチャー(1時間)
  - 大自然ハイキング(5、6時間)

## 問い合わせ先

- 海士町教育委員会  
TEL 085 14-2-1222
- 隠岐の島町教育委員会  
TEL 085 12-2-2126



## 効果

- 豊かな心が育つ。
- 想像力や感性が豊かになる。
- 学校・家庭・地域の連携が深まる。
- ふるさとを愛する心が育つ。

## 実践方法

- 読書会
  - 学校、家庭、地域が連携協力し、集団読書や読み語りを行う活動。
- 合同子ども読書会
  - 各地区の子ども読書会が読書を通じて交流を行う活動。



## 事例紹介等

- ◆桜江町読書普及協議会 子ども読書推進部
  - 5地区に分かれて行う読書会
    - 読み聞かせ
    - 紙芝居
    - 地元の民話紙芝居づくり
    - カルタ会
    - 等
  - 地域とのふれあい交流会
    - 高齢者との交流活動
    - クリスマス会
    - 七夕会
    - 等
  - サマーシアター（全地区合同読書会）
    - ペープサート
    - 大型絵本の読み聞かせ
    - エプロンシアター
    - 腹話術
    - 等

※大東町子ども読書会においても、同様に地域での読書会が盛んに行われています。

## 問い合わせ先

- 桜江町読書普及協議会  
TEL 0855-92-0129

●参考となるHP  
子どもの読書活動推進ホームページ  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/dokusyo/](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/)  
島根県学校図書館協議会ホームページ  
<http://www.commakagi.ne.jp/tosyokan/>

- 大東町子ども読書会  
TEL 0854-43-6131



## 効果

- 子どもたちが地域活動に参加しやすくなる。

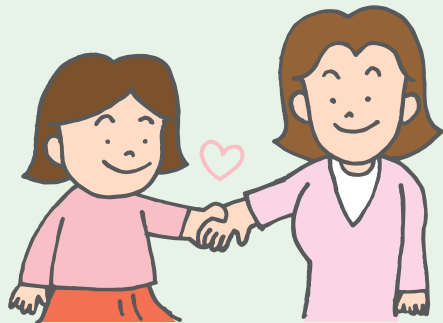
## 実践方法

## ●内容について

公民館が、地域の子どもを対象とした様々な活動のスケジュールと幼・小・中学校の年間行事とタイアップさせ、事業の連携を図る。

## ●方法

幼・小・中学校の年間行事計画及び月予定表の中に活動日を明記し、「雲南市家庭の日」の第3日曜日と「遊学加茂チャレンジスクール」のある第4土曜日は部活動等の活動を原則休止してもらおう。



## 実践例

●加茂町  
(ポイント)

- ◎年度始めに、小・中学校代表(教頭)と公民館で日程調整をする。
- 学 校…児童生徒に、参加してみたい講座を聞く。
- 公民館…児童生徒が希望する講座のボランティアを探す。※一人の希望であっても開講する努力をする。  
結果、スケジュールの調整をしたことが無駄にならず、沢山の児童生徒が地域活動に参加することができる。

## (実施例)

- 福祉探検隊…福祉施設で、お年寄りの方と一緒に話をしたり、ゲームをしたりして交流している。
- 保育士トライ…幼稚園で小さな子の活動を手助けしたり一緒に遊んでいる。
- 日本の心…お茶をたてたり、野に咲く花を生けて日本の心を学んでいる。

## 問い合わせ先

## ●雲南市

加茂公民館

TEL 0854-49-8380



## 効果

- 学校にとっては「高い教育効果と地域の方との交流」が、公民館の講座で学んだ人にとっては「子どもの育成と地域づくりへの参画」が期待できる。

## 実践方法

## ● 内容について

公民館が、公民館で学んだ人の知識や技能を、学校の授業に生かすコーディネートをする。

- 公民館…学校と地域を結ぶ役割をしながら、地域づくりに役立てる。
- 地域…子ども達に教えることが、生きがいとなり、更なる学習意欲が湧いてくる。
- 学校…教員の事務負担の軽減を図り、質の高い学習効果、地域の方との交流を目指す。



## 実践例

## ● 出雲市荒木コミュニティセンター

- 公民館…学校と、公民館で学ぶ人たちとの日程を調整する。先生とボランティアの間に入り、打ち合わせ会の企画をし、改善点や課題があれば検討する。
- 地域…学校の依頼内容に合わせ、指導者（ボランティア）の分担、道具や材料を準備する。
- 学校…年間計画作成、授業内容や予算について検討する。支援内容を明確化する。

（実施のポイント）

- 学校はボランティアに授業のどの部分をお願いしたいのか、はっきりさせる。任せっぱなしはダメです。
- 公民館はボランティアの方の授業の感想を聞く機会を設ける。ボランティアの思いをどのように学校に伝えるのが腕の見せどころです。
- 関係者は子どもの視点に立って、それぞれの思いを伝え合うことが大切です。

## 問い合わせ先

- 出雲市荒木  
コミュニティセンター  
TEL 0853-53-5440





## 効果

- ふるさとに愛着を持ち、自分の住む地域を大切にしようとする心を育てる。
- そこに関わる周囲の人たちの思い、願いを知ることによって地域の一員としての自覚が育つ。
- 環境保全に関わることで様々な人たちの考えに触れることができる。

## 実践方法

- 地域にある川、山、海などにおいて清掃活動をする。
- 地域に生息する動物、植物の状況調査を行う。
- 清掃活動をとおり、ゴミがどのように捨てられているか、どのように廃棄すればよいか(リサイクル)学習する。
- 調べたことを、公民館等の施設で発表し、環境への関心を高める。



## 事例紹介等

- 下意東地区子どもエコクラブ
  - 地域の大人と一緒に地域内の清掃を行ったり、川や海の水質検査をしたりする。
  - 環境学習で学んだ事柄を公民館で地域の方に発表する。
  - 高校生サポーターと協力して活動する。
- コアラッチキッズ
  - 廃油でキャンドルづくり。
  - エコドライブキャンペーンの実施。
  - エコバックづくり。
  - 植林の活動。
  - 日常生活における省エネの実践。

※県環境政策課HPにエコクラブ情報あり。  
<http://www.e-shimane.net/ecoclub>

## 問い合わせ先

- 下意東地区子どもエコクラブ  
 (東出雲町社会福祉協議会内 星野)  
 TEL 0852-52-6294
- コアラッチキッズ  
 (NPO法人 コアラッチ)  
 TEL 090-9704-6616



## 効果

- 安全に安心して、遊べる「子どもの居場所」で、多様な大人や子どもと関わりながら遊ぶことで、社会性や主体性が育つ。
- 地域の子どもの地域で育てる気運が高まる。

## 実践方法

放課後や休日に、学校の余裕教室や公民館等を活用し、地域の大人の力を結集して、子どもたちが自由に遊んだり、いろいろな体験や交流を行ったり、ホッと心安らいたりする「子どもの居場所」を開設します。

## (開設・運営のポイント)

- 関係者が十分に連携し、「地域の子育て・子育て」について共通理解を図り、課題に応じて開設や運営を行います。
- 活動の中心となる調整役(コーディネーター)がボランティアの配置や活動場所の調整、活動内容の検討などを行います。
- 「何かをしても、何もしなくてもいい。」という姿勢で、会場や子どもの実情に応じて回数や内容を決めます。
- 実施する場所の制約はありませんが、活動や行き帰り等の安全確保について十分に配慮しましょう。

## 実践例

- 松江市「古志原子ども広場」  
より身近な地域に「子どもの居場所」を、という要望から、地域の集会所でも開催。民生委員さんや保護者の方もボランティアとして参画しています。自由遊びが中心。
- 浜田市「まちの縁側」  
自宅の一部を開放しています。おやつ作りをしたり、工作をしたりと、子どもたちは自由に過ごし、スタッフはその自発的な活動を見守ります。
- 参考となるHP  
[http://www.pref.shimane.lg.jp/culture/kyoiku/syougai/ibasho\\_dukuri/](http://www.pref.shimane.lg.jp/culture/kyoiku/syougai/ibasho_dukuri/)  
(島根県内の「子どもの居場所」の事例集です)  
<http://www.ibasyo.com/>  
(文部科学省の「子どもの居場所づくり」ページです)

## 問い合わせ先

- 松江市教育委員会  
教育総務課  
TEL 0852-55-5311
- 浜田市教育委員会  
生涯学習課  
TEL 0855-22-2612  
(内線457)





## 効果

- 早寝、早起きの習慣を身につけることができる。
- 朝食を食べることの意義を実感することができる。
- 地域の協力者に感謝の気持ちを持つ。

## 実践方法

- 事業実施団体による事前準備  
(教育委員会、公民館、民間団体等)
- 参加者の募集  
(地域の学校への呼びかけ)
- 事前研修会の開催  
(スタッフ研修会)
- 事業の実施
- 事後研修会の開催  
(スタッフ反省会、点検評価)



## 事例紹介等

- 五箇地区冬期体力作り教室(寒稽古)  
※毎年1月末から2月はじめの1週間。
  1. 初日：五箇町民体育館に集合  
開級式、早朝ランニング
  2. 2日目～6日目
    - (1) 寒稽古(6:30～7:30)  
種目：柔道、剣道、ジョギング  
スポンジテニス、卓球  
サッカー
    - (2) 朝食(7:30～8:00)  
五箇生涯学習センター大会議室  
調理：地域ボランティア
  3. 最終日
    - (1) 寒稽古、納会(6:30～8:15)
    - (2) 朝食兼餅会食(8:15～9:00)
    - (3) 閉級式(9:00～9:30)
 ※2～6日目は朝食後、学校へ登校。

## 問い合わせ先

- 五箇地区冬期体力作り  
教室実行委員会  
(隠岐の島町立五箇公民館内)  
TEL 085 12-5-9011



## 効果

- 地域の自然や食材に関心が高まる。
- 親子のふれあいの中で、食や生活習慣への関心が高まる。

## 実践方法

地域の方をボランティア指導者として、地元の食材を使った、親子での調理体験を行います。  
(山菜を探して野草天ぷらづくり・木の実のジャム作り・イカの裁き方教室・親子で簡単な朝ご飯作りなど)

## (実施のポイント)

## ●企画や募集の方法

PTAや子ども会で企画。指導を地域の方(老人クラブや婦人会など)に依頼する。

## ●安全管理等

野外活動が伴う場合、実施場所等の事前確認を行う。(安全面のほかトイレや水道の場所)

## 実践例

●親子で簡単朝食クッキング  
(雲南市教育委員会)

市内の小学4、5年生の児童とその保護者を対象に、給食センターの栄養士の指導で、朝食の大切さを学んだり、簡単な朝食づくりを行う。

親子のふれあいを深めながら、朝食の大切さを学ぶ。

●親子体験イカさばき教室  
(西ノ島町美田小学校PTA)

地元のボランティアの方を指導者に招き、PTA活動の一環として親子でイカのさばき方を学習・体験する。

身近な食材でも、実際にさばく体験は少ない。



## 問い合わせ先

- 雲南市教育委員会  
生涯学習課  
TEL 0854-40-1073

- 西ノ島町立美田小学校  
TEL 085 14-6-0717



## 効果

- 昔から親しまれている童謡や唱歌を後世へ唄い継ぎます。
- 豊かな心を養い、ふるさとへの誇りと愛着心を育みます。

## 実践方法

地域ごとの合唱サークルなどの活動に加え、広域の「童謡を歌う会」をつくり、子どもたちを交え童謡や唱歌を地域全体で歌う気運を高めます。

- 歌集を作成し、活用する。
- サークルや仲間同士などで童謡や唱歌を歌って楽しむ。
- 活動拠点の近隣にある幼稚園、小学校や、子どもの居場所で童謡や唱歌を通じた交流をする。
- イベントなどを開催し、参加者と童謡や唱歌を歌い交流し、地域の活性化につなげる。

## 実践例

- 雲南市民で童謡を歌おう会（雲南市）

- たくさんの市内の合唱サークルが童謡や唱歌を通じて交流しながら、歌を歌う楽しさや、童謡のすばらしさを伝えます。
- イベント等では構成員が一同に会し、「ふるさと」や「里の秋」などの童謡や唱歌を参加者と一緒に合唱します。
- 合唱フェスティバルなどのコンサートも開催し、地域全体で気運の醸成を図ります。

## 問い合わせ先

- 雲南市教育委員会  
生涯学習課  
TEL 0854-40-1073





## 効果

- 環境問題を考えるきっかけとなる。
- 清掃作業を通じ社会性を培う。

## 実践方法

親子等で海岸清掃を行い、海を越えてやってくる漂着ゴミを産地や種類ごとにわかる範囲で分類し、環境問題を考えるきっかけとします。



## 実践例

## ● 浜田海洋少年団

6月の環境保全推進月間に併せ、浜田市熱田海岸で海岸清掃と漂着ゴミ調査を行う。

浜田海上保安部や地元の保育園等とも連携して実施する。

## ● 浜遊自然館

湊原海岸周辺に漂着したゴミを収集・分別することによって、ゴミの産地や種類を知り、環境問題を考えるきっかけとしている。

(プラスチック・金属・ガラス類・木材類などに分類し、産地がわかるものは産地(国)別に分類する。)

## 問い合わせ先

## ● 浜田市海洋少年団

(長浜公民館内)

TEL 0855-27-4614

## ● 浜遊自然館

(出雲市大社町)

TEL 0853-53-5080





## 効果

- 伝統文化を通して、ふるさとに愛着を持ち、自分の住む地域を大切にしようとする心が育つ。
- 伝統文化をとおり、そこに関わる周囲の人たちの思い、願いを知ることによって地域の一員としての自覚が育つ。
- 周囲の人と関わることで様々な考えに触れ、ネットワークを広げることができる。

## 実践方法

- 郷土に古くから残る伝統文化を、地域の方から学ぶ。
- 継承した伝統文化を地域に披露する。
- 新しい芸能を創設し、引き継ぐことで町のシンボルを自分たちで創り出す。



## 実践例

- 浜田市内子ども神楽社中
  - 神楽の習得だけでなく、社中の大人、小学生と一緒に田植え体験なども行う。
  - 子ども神楽フェスティバルに参加するなど県内外で公演を行う。
- 邑南町日貫郷土芸能保存会
  - 田植え囃子、虫送り、奉納等の伝統行事の指導を地域の大人から受ける。
  - 祭り等で披露する。
- 掛合太鼓保存会
  - 過疎化が進む中、町のシンボルとして掛合太鼓が創設された。
  - 保存会の他、キッズ（保育園児）キッズ（小学生）ジュニア（中学生）の取組がある。
  - 学校の教育活動に取り上げられるなど地域に浸透している。県内外で講演活動を行う。

## 問い合わせ先

- 浜田市観光協会  
TEL 0855-24-1085
  - 邑南町日貫郷土芸能保存会（邑南町町民課）  
TEL 0855-95-1114（森田）
  - 掛合総合センター（自治振興課）  
TEL 0854-62-0300（高橋）
- ※それぞれの地域で伝統文化伝承が行われている。



## 効果

- 昔の人の生活に思いをはせて、ふるさとへの誇りや愛着が高まる。

## 実践方法

- ボランティアスタッフが中心となって、昔の日常生活などを体験する。
- 千歯こきやとうみなど昔の農具を使った体験や、はがまを使った炊飯実習、はた織り機を使った実習を行う。



## 事例紹介等

- 昔のくらし体験講座  
美保関歴史・生活体験資料館
  - 主に市内の小学生を対象に、昔のあそびや昔の食生活など美保関歴史・生活体験活動推進協議会のボランティアスタッフが指導して実施する。
  - 昔の農具や漁具などを展示し、総合的な学習の時間などの学習の場として、参考にする。

- \*昔のあそびを体験しよう
- \*竹とんぼづくり
- \*海水で塩づくり
- \*はた織りの体験
- \*千歯こきによる脱穀体験
- \*わら草履づくり
- \*トコロテンづくり

など

## 問い合わせ先

- 松江市美保関支所  
地域振興課  
TEL 0852-55-5740

